



■発行／都会メディカルケアシステム 渡辺 康介  
 ■編集／福利厚生・広報委員会 京都市北区大宮南田尻町59番地  
 ■ホームページ／<https://www.miyakokai-kyoto.com/>  
 ■お問い合わせ／[jfl@miyakokai.or.jp](mailto:jfl@miyakokai.or.jp)

**理念**

- 患者様・ご利用者様の立場にたったキュア(医療)・ケア(介護)を提供いたします
- 医療・介護・福祉を通して地域、社会に貢献いたします
- 職員の質の向上をはかります



今月のご長寿様

大橋正博様 91歳

生年月日 昭和3年11月25日生まれ

(ご本人様から一言)

「特別なことは何もしていないけど、運が良かった。クヨクヨせんと深く考えずに暮らす事です。」



西賀茂デイサービスセンター

管理者 清水雄慈

皆様初めまして、西賀茂デイサービスセンター管理者の清水です。

西賀茂デイサービスセンターは、定員40名の大規模事業所で平成12年の開設当初から「明るく、楽しく元気が出るデイサービスセンター」をモットーにリハビリテーションの充実を図り自立支援に努めます。サービスを心かげ日々のケアを行っています。皆様は「デイサービス」といってどんなイメージを持たれるでしょうか。

私は20歳で都会に入職し西賀茂デイサービスセンターで働き始めて12年目になります。デイサービスには、職場や地域との関わり、子育て等を通じての人間関係、趣味の場等、色んな社会生活を営んできた人生の大先輩である方々が来られています。その方々がデイサービスという場所で、これまでの肩書や立場に関係なく一人の人間として新たに人間関係を築いていかれる姿を拝見し利用者の皆様を持つておられる力を感じ、多くのことを学ばせていただいています。

他者との関わりを持つということ、全てが楽しく嬉しいことばかりではなく、それが社会と関わる一面であり、時には軋轢が生じることもあると思います。しかし、それらすべてが、生きていくからこそ、だと私は思います。「あー楽しかったな、また来たいな」と思って頂けるデイサービスであり続けるために環境を整え、利用者様の些細な気持ちや変化を見逃さず、利用者様同士の架け橋になることが我々の大切な役目だと考えます。

これからの地域に根差した医療と介護を提供する都会のデイサービスとして、包括的なケアを実践できるよう、学びを深めていく所存です。

## 全体研修「都会の理念について」

グループホームほっこり庵 小林 浩雄



渡辺理事長



村上シニアマネージャー

今年度最初の研修として、4月に当法人の理事長である渡辺康介Drより都会の理念についての講義がありました。この「都の風」の表紙にも掲載されている3つの理念、そして法人の総合パンフレットに記載されている都会の3つのクレド(約束)「心のこもったキュアとケアの提供」、「最高のパーソナルスキルと知的能力を提供」、「願望(想い)に応えるおせっかいの心」についての話です。

その中で一番印象に残ったのが、「おせっかいの心」についてです。私達は利用者様が経験される安心感と満足感を最も大切にしています。そのために必要な姿勢として、利用者様が言葉にされたいか、されなかったかにかかわらず、願望やニーズにお応えするおせっかいの心をもつことが大切なのです。そして我々の使命としてこのおせっかいを、とんとんとしていこうということでした。都会の職員としてこの理念とクレドを胸に、これからも利用者様におせっかいの心を持って関わらせて頂きたいと思えます。

## 認知症サポーター講座

藤井 洋靖

平成31年3月30日に西賀茂会館にて認知症サポーター養成講座を開講しました。今回は大宮社会福祉協議会と共に企画させて頂きましたが、地域の方25名の参加がありました。

私達は数年前よりこの活動を行っており、過去には西賀茂中学校や地域の地藏盆、御園橋商店街などで行っており少しずつ地域にも定着化しているものと思います。そして全国では平成31年3月末現在、累計1100万人以上の方がこの講座を受講しています。

「認知症サポーターキャラバン」と題してTVでも広告されていたこともあり、また、お聞きになった方も多いため、この「認知症サポーター」は何も特別なことをする訳ではなく、認知症を理解し、できることをお手伝いするということになります。

認知症の方は、はたから見ると不思議な行動を取っておられるのかも知れませんが、当のご本人は一生懸命です。認知症は一般的には70代に発症される方が多いと言われていますが、デイサービスのご利用者の中には60代の方もいらっしゃいます。今後更に増えることが予想されている認知症の方を支えるためには、私達専門職の力だけでは足りませんので、行政も認知症サポーター養成講座を推奨しているのです。

認知症の方を正しく理解し、地域の方と共に温かく支えること。そんな地域づくりの環として私達は、今後も認知症サポーター講座を展開していきたいと考えております。もし皆さんのグループ等で受講を希望される場合は出張講座を行うことも可能ですので、どうぞお気軽にご相談下さい。



クロスワード「答え」

|    |   |    |   |    |   |    |   |
|----|---|----|---|----|---|----|---|
| 1  | カ | 2  | ツ | 3  | オ | 4  | イ |
| 5  | ヤ | 6  | ミ | 7  | ツ | 8  | キ |
| 9  | ヨ | 10 | ヤ | 11 | ケ | 12 | ド |
| 13 | ワ | 14 | タ | 15 | ゲ | 16 | マ |
| 17 | ネ | 18 | ダ | 19 | オ | 20 | リ |

ネットタイヤ(熱帯夜)

# 手作り『水無月』に チャレンジしてみませんか

電子レンジ編

(材料) 4人前

- 小麦粉 100g
- 上新粉 20g
- グラニュー糖 80g
- 水 300cc
- 甘納豆 適量
- 牛乳パック



ういろうの上に甘納豆をのせて仕上げます。  
誰が作っても、本当に美味しくできること  
うけあいです。

〈手順〉

- ①牛乳パックを洗っておく(開けないこと)。
- ②グラニュー糖、小麦粉、上新粉をボウルに入れ水300ccを加え混ぜる。
- ③牛乳パックに流し入れる(この時70ccほど別に残しておく)。
- ④電子レンジに横向きに置き5分加熱する。
- ⑤取り出して牛乳パックの上部を切り開く。
- ⑥甘納豆を上面にかぶる位に入れ残しておいた70ccを流し込む。
- ⑦その上にラップをかけ、更に2分30秒加熱する。
- ⑧冷めてから切り分ける。抹茶、コーヒー、黒糖などを加えてもおいしくできます。



## 日常の風景 一乗寺ほっこり庵

今年も桜が  
見られました



桜きれい!

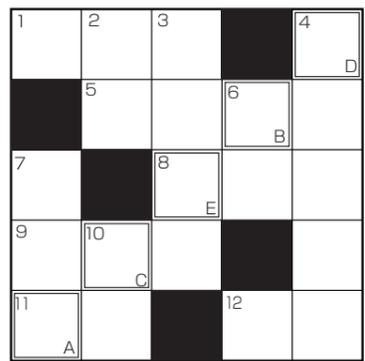


生け花も  
楽しい!



- 12 11 9 8 5 1
- サザエさんの弟  
もうやめられない  
漢字では、火傷と書く  
たんぼの〇〇〇が飛ぶ  
畳の下の横木  
罪人や動物を入れる

- 10 7 6 4 3 2
- へたてのカギ  
磨けば出る  
旅先で買う  
袋小路の奥は...  
代金は後日にまとめて払う  
意気地なしが吐く  
〇〇より高い物はない



「クロスワード」  
出題 小田 正  
「問題」  
A～Eをつなぐと答えです



渡辺西賀茂診療所 訪問リハビリ

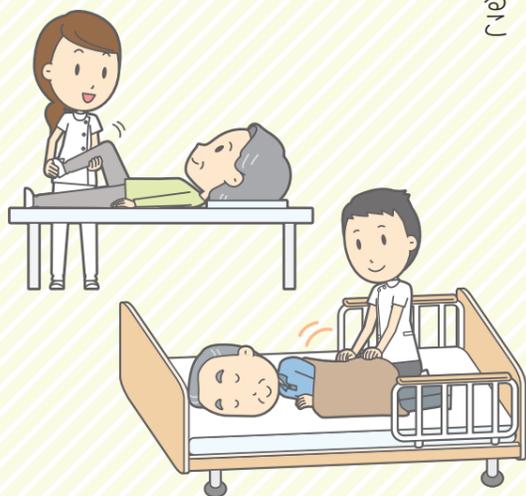
上坊 勝 俊

先日、国立京都国際会館で開催された第10回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会で「グループホームにおける理学療法士の関わり〜より良い高齢期を過ごして頂くために〜」という題名でポスター発表を行ってまいりました。医療職の設置基準が定まっていないういグループホームでは、ご入居者に対して理学療法士などのセラピストが直接介入し続けるのが困難です。そこで直接介入が困難な介護現場へ、セラピストが間接的に介入することでご入居者へ与える



影響を検討しました。  
今回、グループホーム職員に対してのアンケートを実施し、そこから見えてきた問題点を基に勉強会の実施や定期的に訪問し直接アドバイスなど行うことで、職員に意識の変化がみられご入居者への変化のきっかけ作りとなった事を発表しました。今回の活動で「自分で考える」という職員の意識の変化がみられました。この変化が長期臥床や不良姿勢からくる二次障害を改善・予防しADL・QOLの向上へと繋がりがご入居者へ与える影響は大きいと思われれます。

今回の活動はまだ始めたばかりで今後の課題も多くあります。これからグループホーム職員とセラピストが連携し、ご入居者の生活機能向上をめざすためこの活動を継続していき、より良い高齢期を過ごしていただきたいと思います。  
また学会では多くの発表を聞くことができ、様々な学びを得るこ



とことができました。この学びを今後  
に活かし理学療法士としてできる  
ことを精一杯努力していきたいと  
思います。